



年頭のごあいさつ

明けましておめでとうございます。

公益財団法人全国市町村研修財団の運営につきまして、旧年中に賜りました御理解、御協力に深く感謝申し上げます。

はじめに、東日本大震災や熊本地震、九州北部豪雨など各種大規模災害に直面し、その復旧・復興に御尽力をされている多くの皆さまに敬意を表しますとともに一日も早い復旧・復興を心よりお祈り申し上げます。

また、それぞれの自治体においては、被災地に向けて職員派遣などの可能な限りの御支援をいただいておりますことに感謝申し上げます。

さて、昨年、第4次安倍内閣が発足し、「生産性革命」と「人づくり革命」を車の両輪として、少子・高齢化という最大の壁に立ち向かうこととされておりますが、我が国が直面する大きな課題に対しましては、国と地方が連携・協力しあって効果的な施策を強力に展開していく必要があります。国を一本の大木とするならば、その大木を支える根っ子が市町村であるという意識を持って、しっかり取り組んでいくことが重要であります。

今後、市町村では、今まで以上に的確な分析力と政策立案能力を備え、自ら考え自らの判断で施策を構築していかなければなりません。そのためには、意欲と能力・実力を兼ね備えた職員が求められます。

当財団では、市町村アカデミーと国際文化アカデミーにおいて、市町村職員をはじめ首長、議員などに対して専門性の高い最先端の英知・情報を提供する研修を行っており、両アカデミーを合わせますと受講者はのべ23万人を超え、全国レベルのネットワークが形成されています。

引き続き、時代の変化に対応し、地域の安心・安全の確保、住民福祉の向上、地域の活性化など、多種多様な課題に適切に対処していくことができるよう、地域社会の担い手となる人材の育成に全力で取り組んでまいりますので、皆様の御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます、年頭のごあいさつとさせていただきます。

公益財団法人 全国市町村研修財団

理事長 **松浦 正人**
(全国市長会会長 山口県防府市長)